

学校と地域との連携・協働

学校支援地域本部の取組



近江八幡市立八幡小学校

八幡小学校の概要

明治6年4月、東学校・西学校が開設されてから平成28年度で創立143年目となる。現在、通常学級25、特別支援学級4、合計29学級。全校児童数は、819名。

教育目標「夢をもち 仲よく 元気で がんばる子ども」

本校区は、かつて豊臣秀次が開いた城下町であり、近江商人発祥の地としても有名です。地場産業として、八幡靴・八幡瓦・竹細工・数珠などが製造されてきました。特産物として、近江牛・赤こんにやく・丁字麩・和洋菓子等が盛んに販売されています。伝統的な火祭りとして、左義長祭り・八幡祭りが有名です。



創立140周年記念式典（平成25年11月8日）

みんなでがんばろう 3つの「あ」

- ①あいさつ 「おはよう」「こんにちは」「さようなら」
すすんであいさつをする
- ②あんぜん つうがくのこうつうあんぜん
こうしゃのなかではあるく
- ③あとしまつ そうじやかたづけをしっかりとる
ぬいだはきものをそろえる



地域で取り組む安心・安全なまちづくり

あいさつの輪を広げる「オアシス運動」

地域の子どもは地域で守る「八幡学区子ども見守り隊」

本年度学校経営 3つの重点

①人権教育・道徳教育の充実

②ふるさと学習の推進

③学ぶ力の向上

(学習・生活習慣の育成と言語活動の充実)

4年総合的な学習
「八幡堀の学習」





命の学習

専門家（助産師）や保護者の協力を得て、命の大切さを学び、自尊感情を育む授業づくりに取り組む。





健康な体づくり の学習

校医の先生を招いて
健康について考える
授業に取り組む。





ようこそ先輩

キャリア教育の取組として、
各方面で活躍されている
卒業生を招いてお話を聞く。



古き商家の町並み見学



体験的に学ぶ

地域の歴史や文化を
体験的に学ぶ学習づ
くりに取り組む。



地元の伝統野菜「北之庄菜」の栽培

学校支援地域本部による事業の推進

地域住民がボランティアとして学校の教育活動を支援する「学校支援地域本部」を設置し、地域全体で学校教育を支援する体制づくりを確立するために実施する。

ねらい

- ・ 教育活動の充実と地域の教育力の向上を図る
- ・ 子どもが地域の大人とふれ合い学ぶ
- ・ 地域の人が学んだ成果や経験を生かす場を作る
- ・ 教員が子どもと向き合う時間の拡充をめざす

地域コーディネーターが、活動の企画、学校と地域ボランティアとの連絡・調整を行い、学校支援活動の充実を目指す。

学校支援地域本部

八幡小学校の取組

H24~

1. ボランティアの人材確保

- ・自治会の回覧でよびかけ募集
- ・コーディネーターから依頼
- ・PTAによびかけ募集

登録者：保護者・地域住民・学生 計131名

2. ボランティアにやっていたりしていること

- ・環境整備
- ・絵本の読み聞かせ
- ・学習支援
- ・児童引率補助
- ・クラブ活動支援
- ・栽培活動支援

環境整備



花壇整備



カバー作り



樹木の剪定



図書事務



生け花



テント設営・撤収



ゴキブリ団子作り



太鼓の台作り

花の植え替え



絵本の読み聞かせ

毎火曜日



学習支援

家庭：縫い物



外国語活動



体育：水泳



社会：昔の話



生活：竹馬遊び



総合：紙飛行機作り



総合：北之庄菜の調理



音楽：合唱伴奏



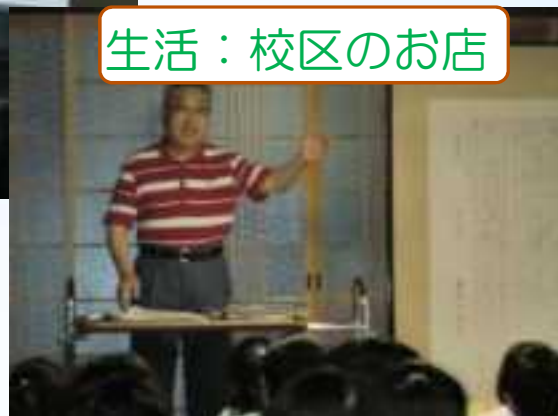
学級活動：ネット犯罪防止



体育：組み体操



生活：校区のお店



生活：デイキャンプ



図工：絵手紙作り



生活：おでん作り



総合：七輪で火おこし



音楽：オカリナの演奏





2年：校区探検



4年：ヴォーリス学習

児童引率補助



3年：図書館見学



なかよし：デイキャンプ

家庭科クラブ



日本伝統文化クラブ



クラブ活動支援

卓球クラブ





日本伝統文化クラブ



日本伝統文化クラブ



栽培活動支援

2年：夏野菜作り



4年：ひょうたん作り



なかよし：夏野菜作り



なかよし：大根作り





2年：大根作り



3年：北之庄菜作り



3. 保護者や地域へのボランティアの発信

①学校だより（活動紹介）

②校内掲示



③ボランティアニュースの発行（活動だより） ボランティアと教職員に配布 コミセンに掲示



④活動のまとめとボランティア募集 自治会回覧

八幡小の学校支援地域本部からの報告とお礼

80名がボランティア登録 のべ9,00時間の支援

ありがとうございました

2014年3月現在、「学校支援事業」においては、約80名の方がボランティア登録してくださり(計16会派34名・学校3名・地域団体44名)、卒業のように学校教育の様々な場面で活動いただいています。子どもたちに「出来ること」を教えるには、地域に出来ることはとても大切ですが、子どもたちは地域の方や企業と交流することで自分たちが大事に生かされていることを実感します。学校は出来る教育活動ができるようになり、支援のおかげでスムーズに授業が進められたいへん喜んでます。また、ボランティアさんや子どもたちと一緒に活動することによって、子どもからエールや一言ももらえたと喜んでくださっています。来年度も、この事業がさらに充実したものに発展し、地域ぐるみで子どもを育てる体制づくりが盛り上がることを実現をお願ひ致します。八幡小学校 校長 吉成 武彦

ボランティアさんに活動いただいた内容(4月～3月)

1年	2年	3年
読み聞かせ 竹馬遊び 英語学習 水遊び体験	読書会 防災訓練 校外学習 水遊び体験 水遊び体験	図書読書会 川遊び体験 ももたん祭 水遊び体験 水遊び体験
4年	5年	6年
ふしやの製作・販売 川遊び体験 読書会 水遊び体験 水遊び体験	読書会 防災訓練 読書会 水遊び体験 水遊び体験	読書会 防災訓練 水遊び体験 水遊び体験 読み聞かせ
地区よし	学校	
読書会 水遊び ボランティア 読書会	読書会 防災訓練 水遊び体験 水遊び体験	読書会 防災訓練 水遊び体験 水遊び体験

図書室

～学校支援ボランティア早わかり～

ボランティアとは
公共目的のために行われる無償の活動を自ら行うこと

できることを
できるときに
できるだけ

地域社会の教育力を学校へ (地域ぐるみで子どもを育てる体制づくり)

よいところ

- 子どもよし・・・いろいろな人が関わることで多様な知識・経験の積みができ、異世代やコミュニケーション能力が向上につながる。また、多くの人が子どもたちを育てることで、よりよい教育が実現できる。
- 学校よし・・・地域の力を得ることで教育が豊かになり一層力を注ぐことができる。
- 地域よし・・・活発とされる喜びを味わえ、地域が地域コミュニティの場となる。

募集します

1年生への読み聞かせボランティア

野菜栽培ボランティア

裁縫・ミシン支援ボランティア

調理支援ボランティア

図書室の整備ボランティア

来年度(平成26年度)読書会を盛り上げるボランティアです

会費を希望される方は7月27日(日)までご連絡ください。
上記以外のボランティアへの応募も受け付けています。
【担当 地域コーディネーター 島 シズル】

4. ボランティアの交流

* 3月にボランティアのつどい実施

* ボランティアルームを設置

* 運動会でボランティア席
を設置



5. それぞれに得られた効果

学 校

- ・ 授業内容が充実する
- ・ 専門的なことを教えてもらえる
- ・ 手伝ってもらえた分、時間ができ、子どもと向き合える
- ・ 学校を理解してもらえる

子ども

- ・ わからないことがすぐに聞ける
- ・ 優しく教えてもらえてほめてもらえる
- ・ 地域の名人のすごさに触れることができる
- ・ 地域の大人と知り合いになれる
- ・ 自然と挨拶ができる

ボランティア

- ・ 子どもとすごし元気になれる
- ・ ボランティア同士の付き合いや情報交換ができる
- ・ 自分の持っている得意なことを発揮できる
- ・ 子どもの上達した姿が見られる

6. 今後の課題

教員やコーディネーターの意識

- ・ ボランティアと共にどんな子どもを育てるのか
- ・ 地域の「人・もの・こと」とのかかわりから学ぶ（地域は学校の宝）

ボランティアの意識

- ・ 学校を核として、地域の子どもを教員と協力して育てている
- ・ 子どもが地域への愛着を持って育ち、地域の担い手として成長

ボランティアの確保

- ・ 学校の多様なニーズに応える人材発掘

学校支援地域本部の運営

- ・ 学校と地域、家庭が連携・協働して子どもたちの学びをより豊かなものにすると共に、地域の良さを知り郷土に誇りが持てる子どもの育成を目指し、本事業に継続して取り組む。
- ・ 学校が抱えている課題を地域や家庭と共有し、「つながり」を意識しながら地域ぐるみで子どもを育てる気運を高める。